

施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	057	青少年の健全育成				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	子ども家庭部 児童青少年課
	基本施策	08	青少年の健全育成			
めざす姿	家庭・学校・地域社会が連携して、青少年健全育成活動や地域の環境浄化活動を行い、多様な体験活動や活動拠点が提供されて、青少年が健全に育成される望ましい社会環境が整備されることにより、青少年が心身ともに健やかに育っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	367,820,000	360,444,000	367,853,000	460,021,000	488,111,000	477,327,000
国庫支出金	0	0	0	25,443,000	32,262,000	34,078,000
都支出金	97,068,000	100,405,000	103,871,000	98,825,000	108,529,000	114,066,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	139,263,000	121,780,000	130,199,000	143,878,000	133,111,000	142,773,000
一般財源	131,489,000	138,259,000	133,783,000	191,875,000	214,209,000	186,410,000
予算現額	367,859,000	384,174,000	393,651,000	461,515,000	489,156,000	0
決算額	353,838,970	376,616,439	388,108,423	437,756,441	483,316,130	0
国庫支出金	0	0	29,492,000	29,588,000	34,041,000	0
都支出金	101,057,400	102,395,000	89,238,000	99,068,000	109,610,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	122,595,500	125,299,100	133,929,400	137,054,350	139,409,250	0
一般財源	130,186,070	148,922,339	135,449,023	172,046,091	200,255,880	0
執行率	96.2	98.0	98.6	94.9	98.8	0.0
(人件費)						
職員数	22.46	22.16	22.51	21.63	20.88	0.00
職員人件費	179,527,961	168,683,771	175,351,663	168,573,756	160,398,218	0
嘱託員数	49.15	49.00	52.00	51.00	48.00	0.00
嘱託員人件費	159,151,485	164,185,427	170,013,116	164,100,507	149,779,200	0
(間接経費)						
間接経費	2,103,117	1,866,907	2,638,695	2,243,019	835,454	0
総コスト	694,621,532	711,352,544	736,111,897	772,673,723	794,329,002	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
青少年対策地区委員会事業参加者数	11,478	実績	10,190	10,434	11,091	10,739	11,500
	人	達成率	88.6	90.7	96.4	93.4	
健全育成協力店の店舗	144	実績	147	144	153	154	170
	店	達成率	86.5	84.7	90.0	90.6	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

青少年対策地区委員会事業参加者数については、事業の見直しなどにより一部減少した地区もあるが、ほぼ横ばい傾向である。また、健全育成協力店の店舗数については、未加入店舗の洗い出しを行い、多くの店舗に声掛けを行ったことにより増加傾向にある。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	青少年健全育成活動や地域の環境浄化活動を行うことで、青少年が健全に育成される社会環境の確保に努めた。また、青少年対策地区委員会をはじめ、学校等関係機関と連携し、青少年の多様な体験活動への参加の機会や活動拠点を提供することができた。	青少年対策地区委員会や学校等の関係機関と連携し、地域の環境浄化や街頭広報活動、ふれあい活動などを実施することで、青少年の健全な育成を図ることができた。	青少年対策地区委員会や学校等の関係機関と連携し、地域の環境浄化活動など様々な事業を実施することで、青少年の健全な育成を図ることができた。青少年自身や子育てに関する相談のほか、若者の自立支援などにも対応する相談窓口として「子ども・若者総合相談」を設置した。	青少年対策地区委員会や学校等の関係機関と連携し、地域の環境浄化活動や育成事業等を実施し、青少年の健全育成を図ることができた。青少年自身や子育てに関する相談のほか、ひきこもりの相談にも応じる子ども・若者総合相談を引き続き実施した。
達成できていない点	家庭・地域・学校と更なる連携を深め、青少年を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応する必要がある。また、中学生や高校生の居場所づくりや、青少年に関する様々な相談内容に対応できる相談窓口を設置する必要がある。	青少年を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応し、家庭・地域・学校との連携を更に深めるとともに、若者の自立支援などにも対応する相談窓口の設置や中高校生の居場所づくりなどについて引き続き検討する必要がある。	スマートフォンやSNSの急速な発展に伴い、青少年を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応し、家庭・地域・学校との連携を更に深めるとともに、中高校生の居場所づくりなどについて引き続き検討する必要がある。	スマートフォンやSNSの急速な発展に伴い、青少年を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応し、家庭・地域・学校との連携を更に深めるとともに、若者自立等支援に係わる効果的な施策について検討する必要がある。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>青少年対策地区委員会をはじめ地域や学校関係機関との連携を図りながら、環境浄化活動、街頭広報活動、ふれあい事業を実施するとともに、青少年交流の場として小学生バレーボールのつどいや青少年の健全育成を訴える標語コンクールなどを実施した。</p> <p>また、毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動やイベントを実施したほか、青少年委員の協力のもとジュニアリーダー講習会など体験活動事業を実施するとともに、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの活動を支援した。</p> <p>青少年自身や子育てに関する悩みの相談窓口である「青少年・子ども相談」のほか、ひきこもり等の若者を持つ家族に対し、セミナーや個別相談からなる「家族ゼミ」等を実施してきたが、平成28年8月よりひきこもりに関する相談を常設化し「子ども・若者総合相談」を開設した。</p> <p>子どもたちの放課後対策として「放課後子ども教室」や「学童クラブ」を全22小学校区で実施するとともに、登下館時の安全確保のため、見守りボランティアや子ども緊急避難の家を募集した。</p> <p>青少年音楽団体については、平成29年度に運営主体を府中文化振興財団へ完全移行した。また、青少年団体の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した。</p> <p>児童館においては、指導員が日々来館する児童と共に遊びながら見守りを行った。また、各種サークル活動を支援した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>スマートフォンやSNSの急速な普及など、子どもたちを取り巻く環境の変化に柔軟に対応するとともに、若者自立支援については、東京都や近隣市の動向を踏まえ、ひきこもり等の若者やその家族に対する支援を充実する必要がある。</p> <p>学童クラブの対象年齢が小学6年生までとなって3年目となり、今後の保護者ニーズによる事業量を放課後子ども教室と一体的な運営及び内容の充実を通じて確保する必要がある。</p> <p>自主活動奨励事業においては定員に達していないサークルをPRするとともに、今後はニーズに合わせたサークルを増やし、不公平が生じないように配慮する。</p>
今後の展開
<p>青少年対策地区委員会や学校などの関係機関と連携し、子どもを取り巻く環境を良好なものとするとともに、交流事業や体験活動事業を引き続き実施する。</p> <p>また、ひきこもり等の若者やその家族が適切な支援を受けられるよう必要な施策を検討するとともに、「子ども・若者総合相談」の充実を図る。</p> <p>学童クラブと放課後子ども教室が連携を深め、共通プログラムの実施などの一体的な運営を推進する。</p> <p>青少年団体の文化活動の発表に係る使用料の援助については、引き続き市として援助していく。</p> <p>児童館サークルについては、活動内容を精査し、より多くの子どもたちが参加できるよう配慮する。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
青少年健全育成事業	子ども緊急避難の家や健全育成協力店事業など、環境浄化や啓発活動を地域との連携のもと実施するほか、各地域での交流事業や市主催のバレーボールのつどいや標語コンクールなどを実施する。また、毎月第4土曜日の「家庭の日」にあわせ親子のふれあいを大切にする事業を展開する。	子ども緊急避難の家や健全育成協力店事業など、環境浄化や啓発活動を地域との連携のもと実施するほか、各地域での交流事業や市主催のバレーボールのつどいや標語コンクールなどを実施する。また、毎月第4土曜日の「家庭の日」にあわせ親子のふれあいを大切にする事業を展開する。	子ども緊急避難の家や健全育成協力店事業など、環境浄化や啓発活動を地域との連携のもと実施するほか、各地域での交流事業や市主催のバレーボールのつどいや標語コンクールなどを実施する。また、毎月第4土曜日の「家庭の日」にあわせ親子のふれあいを大切にする事業を展開する。	子ども緊急避難の家や健全育成協力店事業など、環境浄化や啓発活動を地域との連携のもと実施するほか、各地域での交流事業や市主催のバレーボールのつどいや標語コンクールなどを実施する。また、毎月第4土曜日の「家庭の日」にあわせ親子のふれあいを大切にする事業を展開する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署				
子ども家庭部 児童青少年課				
事業種別				
主要な事務事業	青少年対策地区委員会との連携により環境浄化や啓発活動、ふれあい事業を実施することができた。また、市主催事業を計画どおり実施し、普段は接点を持たない子どもたちの交流の場を提供することで青少年の健全育成に寄与した。	青少年対策地区委員会との連携により環境浄化や啓発活動、ふれあい事業を実施することができた。また、各地域での交流事業や市主催事業を計画どおり実施し、子どもたちの交流の場を提供することができた。	青少年対策地区委員会との連携により、健全育成協力店の加入促進やSNSトラブルに関する啓発活動などを実施することができた。また、各地域での交流事業や市主催事業を計画どおり実施し、子どもたちの交流の場を提供することができた。	青少年対策地区委員会との連携により、健全育成協力店の加入促進やSNSトラブルに関する啓発活動、各地域での育成事業等を計画どおり実施し、青少年の非行被害防止に努めたほか、様々な交流の場を提供することができた。
4か年事業費計(単位:千円)				
	35,532			
青少年総合相談運営事業	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会やセミナー、個別相談からなる家族ゼミを実施する。	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会やセミナー、個別相談からなる家族ゼミを実施する。また、ひきこもりやニートなどの相談体制の整備を検討する。	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会やセミナー、個別相談からなる家族ゼミを実施する。また、ひきこもりやニートなどの相談体制を整備する。	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会やセミナー、個別相談からなる家族ゼミを実施する。また、ひきこもりやニートなどの相談事業を展開する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署				
子ども家庭部 児童青少年課				
事業種別				
主要な事務事業	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会や家族ゼミを実施することで、青少年自身や子育てに悩む保護者の相談に対応し、必要に応じて関係機関につなげることができた。	青少年・子ども相談を実施するとともに、ひきこもり等の若者自立支援のため、講演会やセミナー、個別相談などを実施することで、青少年自身や子育てに悩む保護者の相談に対応し、必要に応じて関係機関につなげることができた。	青少年自身や子育てに悩む保護者の相談のほか、ひきこもり等の相談について、継続的に受け付けることができる「子ども・若者総合相談」を設置するとともに、保護者向けセミナーを実施することで、適切な関係機関を紹介することができた。	相談窓口を常設化したため、若者自立支援に係わる広報・啓発活動については、セミナー等は実施せず、チラシの配布等にとどめたが、継続的な相談に応じ、適切な関係機関の紹介や助言等を行うことができた。
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,988			
【進捗状況】				
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 ちびっ子文化祭運営事業	30		1,803,000	1,802,456	1,803,000	文化センターで活動している小・中学生が年1回市内のホールで日頃の成果を発表する。	B	1
2 自主活動奨励事業	30		11,810,000	11,537,250	11,683,000	児童館において年間をとおして実施するサークル活動を支援する他、児童館に指導員を配置する。	B	1
3 成人の日記念青年のつどい運営事業	30		2,866,000	2,715,295	2,851,000	記念式典の開催	B	1
4 青少年団体活動支援事業	30		528,000	502,893	270,000	ボーイ・ガールスカウトや子ども会の活動を支援する	C	1
5 青少年委員活動事業	30		4,871,000	4,695,857	4,879,000	市に青少年委員（20人以内）を設置する	B	1
6 青少年団体育成奨励事業	30		698,000	431,528	696,000	青少年団体育成の奨励	B	1
7 青少年体験活動運営事業	30		1,489,000	972,563	1,567,000	野外活動や体験活動を実施する	B	1
8 放課後子ども教室事業	30		160,007,000	155,955,244	154,842,000	放課後子ども教室事業の実施	B	3
9 青少年問題協議会運営事業	30		513,000	415,943	506,000	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策の調査・審議・実施をする	B	1
10 青少年健全育成事業	30		7,565,000	7,307,995	7,210,000	青少年健全育成の環境づくり	B	1
11 学童クラブ管理運営事業	10		292,923,000	293,922,274	288,019,000	保護者が労働などの事情で昼間家庭にいない児童の健全育成を図る。	B	3
12 青少年総合相談運営事業	30		3,038,000	3,056,832	3,001,000	若者の「ひきこもり」に対する自立を支援する	B	1
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			488,111,000	483,316,130	477,327,000			